

# 三好郡・市国語研究会のあゆみ

## 1 本郡・市の状況

21年度全国学力調査の国語の結果において、「資料から情報を読み取って整理し、条件に合わせて書くことに弱点がある」と指摘されている。本郡・市の子どもたちも例外ではない。子どもたちの言語活動を充実させるためには、文章を読み取るだけでなく、読んだことをもとに自分の考えをもち、表現する力を伸ばすことが大切だと考えられる。

今年度は、夏季研修及び県国語教育研究大会発表に向けた研修会において、上記のことをテーマとし、研究を進めた。

## 2 組 織

部 長	天竹 勉（名頃小）
副 部 長	横田 和子（足代小）
事 務 局	森本 明子（池田小） 原 真由美（白地小）
研修担当	中妻 稔子（箸蔵小） 伊丹 智子（足代小）

## 3 研究経過

- (1) 研究主題 主体的・自覚的にことばを学ぶ子どもが育つ国語科授業の創造  
「読むこと」を基盤に、知識・技能の習得と活用する力の育成を図る学習指導

### (2) 研究内容

三好郡・市小学校教育研究会国語部会総会

[日時] 平成21年4月23日（木）

[場所] 池田小学校

[内容] 研究主題の決定，役員選出，運営計画

国語部会役員会及び研修会

[日時] 平成21年6月2日（火）

[場所] 三好教育センター

[内容] 夏季研修会についての計画

国語部会役員会及び研修会

[日時] 平成21年7月3日（金）

[場所] 三好教育センター

[ 内容 ] 夏季研修会指導案，徳島県国語教育研究大会発表についての検討会

第56回三好郡・市国語教育夏季研修会

[ 日時 ] 平成21年7月24日(金)

[ 場所 ] 三好市山城町 下名小学校

[ 内容 ] 提案授業 1学年 「おおきなかぶ」

授業者 矢野亜由美教諭

研究協議 ・読む力、書く力を育てる手立てについて

読み取ったことに対する自分の意見を持ち，それを伝え合うことを目標としている。児童は，国語辞典を活用し，分からない言葉を補いながら物語を読むようになってきた。意見の発表の仕方として，「わたしは，～だと思ひます。わけは，～です。」という話型を日常的に指導している。児童は，理由をくわしく述べられるようになってきた。また，平仮名を正確に読んだり書いたりする力を伸ばすために，主に教科書教材を使って視写にも取り組んでいる。

指導講話 総合教育センター学校経営支援課 大島 千文 指導主事

・授業について

本時のねらいは，それぞれの児童が意見をもつということだったので，少しずつの意見のちがいははっきりさせ話し合わせてみたらよかったと思う。お互いの意見を比べるというのは大事なことである。また，文章は，長く書くことよりも，ある程度の文量にまとめて書く力をつけていくことが大切。

・講話「国語科における授業改善を求めて」

新学習指導要領で重視されていることを基に，授業を改善すべき点や，日常的な指導の充実を図るための具体的な手立て等についてご講話いただいた。

第24回四国国語教育研究大会・第32回徳島県国語教育研究大会(小松島大会)

[ 日時 ] 平成21年11月20日(金)

[ 場所 ] 小松島市 新開小学校

[ 内容 ] 提案発表 第1学年分科会 足代小学校 伊丹 智子教諭

主体的・自覚的にことばを学ぶ子どもの育成をめざして

～書く活動をとおして読む力を育てる学習指導の充実～

研究集録「三好国語」の編集発行(2月中旬予定)

(池田小学校教諭 森本 明子 記)